

2020
1 月号
no.583

支える人を支える 京都の 福祉

『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です



●今月の「ふくしびと」は保育教諭・藤村苑子さん ▼7ページ

●京都府社会福祉協議会会長 年頭挨拶

京都府知事 年頭挨拶 ▼2ページ

もえくさ



T.T

新年あけましておめでとうございます。いよいよ東京五輪・パラリンピックイヤー。日経クロストレンドによると「パブリックビューイング」が今年のヒット予測の1位だ。

スポーツといえば、昨年のラグビー日本代表のスローガン「ワンチーム」。これは、一色に染まるという意味ではなく、個の違いを認め合って、多彩でありながらもひとつになるという意味も含まれているそう。もちろん、簡単にワンチームになるものではないだろう。しかし、違いや多様性を認め合うことが大きな力になるといふことは、福祉に携わる私たちにとっても勇気づけられることだ。

今、京都府社協では第5次中期計画の策定に取り組んでいる。職員がどんな地域社会をつくりたいと思っているのかを話し合う中で、共通することの一つに「多様な価値観・生活文化への共感や理解が広がっている社会」がある。

パラリンピックを通して、個の違いや多様性が大切にされる社会への理解がさらに広がる一年になることを願う。京都府社協もどのような役割を果たすのか、しっかりと考えたい。

未来に向けた新たな取り組みを スタートさせる一年に

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会 会長 位高光司



新年あけましておめでどうござい
ます。令和最初の新年を迎えるにあたり、
誰もが希望を持てる新しい時代とな
ることをともに願いたいと思います。

今年（令和）の年にあたります。

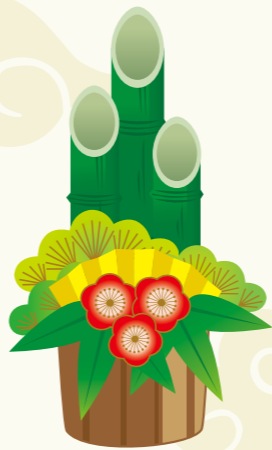
「庚」は植物の生長が止まって新た
な形に変化しようとする状態を表し、
「子」は新しい生命が種子の中にき
ざし始める状態を表しています。私
たちの福祉・介護の業界には、地域
に根差した多くの実践や豊富な経験
を持つ人材をはじめ様々な資源が蓄
積されております。今こそこれらを
活かして、未来に向けた新たな取り
組みをスタートさせる好機ではない
でしょうか。

社会経済情勢に目を向けますと、
米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化を
はじめ、我が国の経済にマイナスの
影響を与える事象が発生しています。
2019年は世界的に10年ぶりの
低い経済成長率になるとされており、

我が国においても景気の足踏み感が
観測されているところです。また、
川崎市登戸通り魔事件や京都アニメ
ーション放火事件など、社会的孤立
を背景とする事件の発生が相次いで
います。

昨年を振り返りますと、福祉・介
護人材の確保・育成は依然として厳
しく、民生児童委員のなり手不足の
中での一斉改選の実施など地域福祉
を取り巻く環境も厳しい状況にあり
ます。また、台風15号や19号をはじ
め全国各地で多くの災害が発生した
一年でもありました。本会では市町
村社会福祉協議会連合会と連携し、
災害ボランティアセンターの運営支
援や緊急小口資金特別貸付のため福
島県へ職員を派遣するとともに、本
会が事務局を担う京都府災害ボラン
ティアセンターのボランティアバス
の運行支援などを多くの関係者の協
力を得て取り組んでまいりました。

こうした中、本会では令和2年度



をスタートとする第5次中期計画
の作成作業を行っております。府民
の安心・安全な暮らしの実現、多様
な価値観・文化への共感や理解の広
がり、福祉を創造する活動（行動）
の活性化を目指し、引き続き市町村
社会福祉協議会、民生委員・児童委
員、社会福祉施設や福祉関係団体等
の皆様とともに取り組みを進めてま
いります。

結びに、新しい年も昨年同様、私
ども京都府社会福祉協議会の活動に
御理解と御協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆様の御
健勝と御多幸を心からお祈りいたし
ます。

令和元年度人権擁護啓発ポスターコンクール

京都府社会福祉協議会会長賞が決定しました！

人権擁護啓発ポスターコンクールは、府内の小・中・高等学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスター（絵画）の制作を通じて基本的人権について一層理解を深め、人権尊重の精神を養う機会とするため昭和59年度から実施されています。今年度は小・中・高の中から200校4465点の応募がありました。その中から京都府社会福祉協議会会長賞として、京都市立西京極小学校小玉若菜さんの作品が選ばれました。作品は京都府ホームページでご覧になることができます。



令和2年年頭の「あいさつ 夢や希望を実現できる年に

京都府知事 西脇隆俊



新年あけましておめでどうござい
ます。

府民の皆さまにおかれましては、
つつがなく新しい年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

● 昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成か
ら令和へ、新しい時代が幕を開けま
した。令和という元号には「人々が
美しく心を寄せ合う中で、文化が生
まれ育つ」という願いが込められて
おります。日本文化の中心である京
都府として、府内の多様な地域文化
を世界へ発信していく務めを改めて
自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪
サミット、9月のI・C・O・M（国際博
物館会議）京都大会、そして先のラ
グビーワールドカップ2019日
本大会と、折々に多くの観光客の皆
さまにお越しいただき、世界中から
日本が、そして京都が注目される一
年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰
氏がノーベル化学賞を受賞され、2
年連続で京都ゆかりの方が栄誉に輝
くという大変うれしい出来事もござ

いました。

一方、京都アニメーション第1
スタジオの放火によって多くの方々
が亡くなるという大変痛ましい事件
も起こりました。衷心よりお悔やみ
を申し上げますとともに、今なお治
療を続けておられる方々の一日も早
いご回復を祈念申し上げます。京都
府といたしましても、引き続き、被
害者やご家族の皆さまに寄り添った
支援をしてまいります。

● 「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢
を見渡すと、少子・高齢化と人口減
少の本格化に加え、グローバル化の
進展によって国際情勢の変化がわれ
われの生活にも直接影響を及ぼす状
況にあります。また、頻発する自然
災害など多くの課題が横たわってい
ます。これらに対応するため、京都
府では昨年10月、府政運営の指針と
なる新しい京都府総合計画「京都夢
実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの
夢や希望が全ての地域で実現できる
京都府」という2040年の将来像
をめざし、行政分野や地域ごとの具

体的な取組方策等を定めたものです。
府民の皆さまや地域、企業などと共
に取り組みを進め、総力を結集し、
めざす将来像の実現に向け果敢にチ
ヤレンジしてまいります。

● 京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック
ク・パラリンピック競技大会（以下
「東京2020」）が、そして来年
にはワールドマスターズゲームズ
2021関西が開催されます。こう
した機運の中、府内初となる専用球
技場「京都スタジアム」が完成し、
迫力のあるスポーツイベントを臨場
感いっぱい楽しんでいただけるよ
うになりました。同スタジアムを京
都府中北部地域へのゲートウェイと
して地域活性化を図るとともに、ス
ポーツを通じて関西一円を元気にし
てまいります。

そして、東京2020の開催に
合わせ、日本の美を体現する「日
本博」が文化庁主導のもと全国で
開催されます。この機会に京都府
では「京都文化力プロジェクト
2016・2020」の総仕上げとな
る総合的な文化の祭典を開催するほ

か、2021年度を目途とする文化
庁の本格移転を見据え、文化の保存
継承、創造、発展にも力を注ぎます。
また、伝統産業とその技を生かし
た新技術、観光・文化産業、ハイテ
ク産業が三位一体となり、さらに大
学等が集積した京都の潜在力を大い
に発揮することが求められます。京
都経済百年の計となる「京都経済セ
ンター」を核に、起業から成長支援
海外展開、人材育成まで、イノベ
ーションが起り続ける事業環境の創
造を進めてまいります。

● 共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人であり
ます。就任以来、一貫して進めてき
た「子育て環境日本一」の実現に向
け、2040年までに全国平均並み
の合計特殊出生率を達成するべく
「子育て環境日本一推進戦略」を策
定しました。この目標の達成は容易
なことではありませんが、「水滴石
を穿つ」と申します通り、粘り強く
取り組んでまいります。

今年、十二支の始めである子年
『漢書』律曆志によると、新しい生
命が種子の中に萌し始める状態を表
していると考えられています。この新し
い年を、府内全ての地域が活力にあ
ふれ誇りを持てる、新しい時代の京
都を築き上げるための第一歩とする
ため、共に歩んでまいります。
今年一年の皆さまのご健勝とご多
幸を心からお祈り申し上げます、新年の
ごあいさついたします。

3 学生からのヒアリング

同 志社大学、同志社女子大学の学生からなるボランティアサークル「ASUVID 京田辺」との協働を2年前から進めています。学生が「やりたいこと」をカタチにしていくため、学生や大学のボランティアセンター職員の方と会議を重ねています。現在は、京田辺市にある社会福祉施設「さんさん山城」をフィールドとし、「防災」をテーマにした企画を行うことを目標に学生との関わりを継続しています。学生と施設とのつなぎ役は京田辺市社協が担っており、入り口デザインプロジェクトでも学生へのインタビューの場を設ける等、学生との信頼関係を徐々に築いていっています。



日 東精工株式会社 取締役兼執行役員の荒賀誠さん、住友理工株式会社 CSR部社会推進室長伊藤かおりさんを招き、企業のCSR活動について学ぶ機会を綾部市で開催しました。当日は企業の方々や地元のNPO法人の方、社協職員も参加し、様々な人たちが交流する場が実現しました。企業のCSR活動に対する思いや展望を聞き、どのようなカタチで協働が出来るのかを話し合う中で、「企業で地域の細かいニーズを把握するのは難しい。社協には地域と企業を結ぶ役割を期待している。」という発言もありました。企業の「ホンネ」を聞くことで、今後の協働のヒントになりました！



4 企業との接点

「市町村を超えた団体のつながり」をコーディネートしたい！

地域とのつながりが希薄になり、「孤立」という言葉がニュースでも多く聞かれるようになりました。ボランティア活動が社会へ参画するきっかけとなり、活動を通じて、地域への愛着が生まれ、自分らしく生きる人が増えることで、孤立はなくなっていくのではないかと思っています。「ちょっとボランティア行ってみよう！」と気軽に地域に出かけていき、自身の趣味や特技を生かした活動を行いながら、地域の課題を自分ごととして捉え、行動していくことができる社会の実現を目指し、これからも実践を重ねていきたいです。現在、実践をする中で見えてきたことは、「市町村域を超えた団体同士のつながり」を、入り口デザインプロジェクトで

これからがんばります!!



プロジェクトメンバー

コーディネートできるのではないかと。新しい団体同士のつながりから、新しい活動のきっかけが生まれ、ボランティアに関わりのなかった人々をボランティアの世界に呼び込むことが出来る可能性を感じています。「ゆうきのてびき」作成にかかるインタビューを通じて知り合った方々と一緒に、思わず参加したくなるようなボランティア活動を啓発するイベントを実施するなど、ボランティア活動の裾野を広げていきます！



「ちょっとボランティア行ってみよう！」を当たり前

ボランティアの入り口デザインプロジェクト

始動中!

1 ビジョンの策定

「ちょっとボランティア行ってみよう！」という会話があふれている社会を目指し、市民の「やりたいこと」をボランティアの「入り口」(きっかけ)にしていく仕組みをつくろう！そんなビジョンを持って、「ボランティアの入り口デザインプロジェクト」は始まりました。

ボランティア活動を通じて地域に参画し、地域の課題を自分ごととして捉え、行動する市民が増えていくことを目指し、ボランティア活動者の高齢化や固定化、災害ボランティアの広がりなど社会の動きを捉えながら、ボランティア活動を広げるための実践を重ねています。

わたしたちのビジョン

「ちょっとボランティア行ってみよう！」を当たり前

京都府内の各地で、共通した悩みが「ボランティアのなり手がいないこと。どうやったらボランティアのなり手は増えるのでしょうか？」府内のボランティアコーディネーターたちと府社協が結束。2017年から協議・検討を重ねて「入り口を増やす方法」を考えるプロジェクトが始動しています！



「ゆうきのてびき」は府内社協やボランティアセンターで働く、ボランティア業務を担当している職員向けに発行したものです。

内容は、ボランティアセンターの機能や相談業務のポイントなどボランティア業務の

基本に加え、ボランティア活動をする学生や、ボランティア活動者を受け入れている施設へのインタビューをまとめたものになっています。

ボランティア担当者のスキルの研鑽はもちろん、学生や施設のボランティア活動に対する「ホンネ」を知ることで、ボランティア活動を広げるための実践のヒントを府内全体で共有できるように意識し、作成しました。

2 ゆうきのてびきの作成

ボランティアに新たな人を呼び込む挑戦



尊敬できる
先輩たちのような
保育教諭になりたい



あひるが丘こども園 保育教諭 ● 藤村 苑子さん

◆働き始めたきっかけは？

子どもの自発性や自主性を伸ばすという保育方針がとても魅力的に感じたのが一番大きいです。

◆職場のいいところ

職員が働きやすくなるようにということを常に考えてくれている。また園全体で子どものことを考えている。

◆休日の過ごし方

今年から一人暮らしを始めたので、料理にはまっています。和・洋・中、ある程度なんでも作ります！

「昔から子どもが好きだったんです。それで、学生の頃に保育園でアルバイトしていたのですが、『やっぱり子どもが好きだ！』と実感したので、好きなことを仕事にしたいと思い、保育教諭になつたんです」そう話すのは、あひるが丘こども園の保育教諭、藤村苑子さんです。

「保育教諭は子どもたちを育てていく大事な役割を担っているのです、これからも変わらぬ愛情を注いでいきたいですね。この園には私にとって尊敬できる先輩がたくさんいますので、先輩たちのような保育教諭になりたいと思います」

【施設名】(福) 洛西永正福祉会 あひるが丘こども園
【場所】京都府向日市物集女町北ノ口 65-2
【TEL】075-921-0005

声をかけても反応してくれない利用者さん
「もしかして認知症？」



「聞こえが悪い」の

かもしれません。

【お話】(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会 内川 大輔さん

高齢の利用者さんに声をかけても反応がない、最近テレビの音量が前より大きくなっている。普段の支援の中でこのような状況に出くわすと、「もしかして認知症？」と考える支援者も多いでしょう。ですが、それは認知症ではなく、もしかしたら聞こえの問題かもしれません。実際、このようなケースは意外に多く、コミュニケーションが取れないと思っただけで、聞こえにくいだけだったということがありません。その可能性を支援者が知らないで、利用者さんとのコミュニケーションがうまくいかない。ゆくゆくは利用者さんの自己決定が奪われてしまうといったことが出てきてしまいます。

もし声をかけても反応がない、そんな兆候があったら、気軽に私たち「聞こえのプロ」に相談してください。

(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会が運営する「きこえの森診療所」では、言語聴覚士による聴力検査と耳鼻科医による診察ができます。また身体障害者の診断書や補聴器の意見書など、各種の診断書の作成を行っています。聞こえの問題は一生続きますので、「診断書を出して終わり」ではなく、その後も当事者の集まる場所を作り、継続して支援し、その人の生涯に付き合います。

私自身、生まれつき耳が聞こえません。聞こえの問題は、聞こえていないことを認識されないことです。その問題を正確に把握するまでが難しいと言えます。想像力を膨らませて、この世の中には聞こえない人もいるという可能性を排除しないでいただきたいですね。

👉「聞こえのプロ」ご存知ですか？



▲手話講座 (講師・田原里絵さん)

(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会では、手話や聴覚障害のあるお客様とのコミュニケーション方法について学ぶ「法人・企業研修」や「聞こえのサポーター養成講習会」の実施など、「聞こえのプロ」として、子どもから高齢者まで、聞こえに関するさまざまな悩みに応えています。悩みに直面したらずはご相談ください。

👉(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会

【住所】京都府京都市中京区西ノ京東中合町 2
【電話】075-841-8336 【FAX】075-841-8311
【URL】http://www.kyoto-chogen.or.jp

講座申込専用ダイヤル
075-275-8021



(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会
内川 大輔さん
手話通訳者
加藤 佳奈さん

京都府社会福祉協議会からのお知らせ

京都府災害ボランティアセンター企画

内容

特別講演

「阪神・淡路大震災から25年
我々に必要な自然災害への備えとは」
(仮題)
～神戸の被災地復興まちづくり
支援の経験から語る～
講師 認定NPO法人まち・コミュニケーション
代表理事 宮定 章 氏

日程

2020年3月1日(日)

時間

13:30～16:00(予定)

会場

キャンパスプラザ京都4階
第3講義室
(最寄り: JR「京都駅」下車)

参加対象

どなたでも参加できます

参加費

無料

問い合わせ先

京都府災害ボランティアセンター
TEL.075-254-8815
(申込方法など詳細が決まりましたら、
災害ボランティアセンターのHP
やFacebookでお知らせします。)

FUKUSHI就職フェア(合同就職説明会)のご案内

就活解禁! 福祉の仕事に関心のある学生の方はもとより、
一般の方も大歓迎! **予約、履歴書は不要!**
ぜひご参加ください!

日程

2020年3月8日(日)

時間

12:30～16:30

会場

みやこめっせ (最寄り: 地下鉄「東山」駅下車 徒歩約8分)

対象

福祉職場に就職を希望する一般・学生等の方

問い合わせ先

京都府福祉人材・研修センター TEL.075-252-6297

「京都の福祉」は、
みなさまからの情報を
お待ちしております!

府社協の広報誌「京都の福祉」は、「支える人を支える」
をテーマに、読み手のみなさまに活用していただける
ようにリニューアルしました。ご意見や感想はもちろん
「こんなテーマを取り上げてほしい」「取材してほしい」、
そんな情報をぜひ気軽にお寄せください。

● 本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索

© 中央共同募金会



本紙は、共同募金の
配分金によって
つくられています。

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

プラン1

施設業務の補償

(賠償責任保険、動産総合保険)

基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円

付見舞費用(B型)

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償 改定

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆ 加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。



充実した補償と
割安な保険料
です。

スケールメリットを活かした

◆ クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土・日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)